

愛媛大分交流
市町村コラボ企画

豊予交流

大分県大分市

【大分県側の自治体の特産品や観光地、歴史・文化などを掲載します。】

大分市



大分市高崎山の宣伝部長
「たかもん」

大分市は、緑豊かな山々と海や川に恵まれるとともに、九州第1位の製品出荷額を誇る製造業を中心に、様々な産業が集積する県都であり、九州各都市への繋がる鉄道や高速道路、関西・四国方面への海上交通が充実するなど交通結節機能が充実した都市でもあります。

近年では、国民文化祭、障害者芸術・文化祭（2018年）に続き、ラグビーワールドカップ（2019年）も開催されるなど、国際観光都市としてさらなる発展を目指しています。



基礎データ

人口：478,463人（令和2年12月末）
総面積：502.39km²

大分市の歴史・文化

History / Culture



大友宗麟公像



大分マリンパレス水族館
『うみたまご』

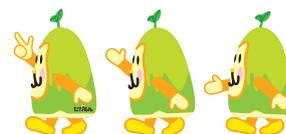


高崎山自然動物園

大分市の歴史を語る上で外せないのは、豊後の英傑・大友宗麟公です。今から約450年前の戦国時代に、名門大友家の第21代当主として北部九州6カ国を治めるとともに、ヨーロッパとの積極的な交流により南蛮文化を花開かせました。今でも、宗麟公ゆかりの史跡や寺社仏閣が多数現存しています。

また、本市出身の磯崎新氏など著名な建築家の建造物や、国内有数の観光施設である「高崎山自然動物園」「大分マリンパレス水族館『うみたまご』」など見所も多数あります。

Let's Walk Oh!lita City



大分市の特産品

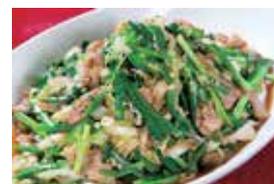
Specialty goods

自然に恵まれた大分市は、たくさんの特産品を生んでいます。瀬戸内海と太平洋の水塊がぶつかり合う豊後水道で一本釣りされた「関あじ・関さば」は、特有の旨みと歯応えがあり、大分市が全国に誇るブランド魚です。また、市民のソウルフードといっても過言

ではない「とり天」や「にら豚」など、郷土料理も充実しており、農業・漁業も盛んで、「大葉」「いちじく」「しいたけ」「クロメ」などの食材や、これらを加工した魅力的な特産品が数多く生産・販売されています。



関あじ・関さば



にら豚



とり天

そのほかの特産品などに関する情報はこちら▼



(一社) 大分市観光協会HP



大分市企画部企画課 広域連携推進室 ☎097-585-5242